

**要請番号 (JL12420A11)**

**募集終了**



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
パプアニューギニア	A101 コミュニティ開発		個別	交替 6代目	2年	・2020/2・2020/3・ 2021/1

### 【配属機関概要】

#### 1) 受入省庁名（日本語）

マヌス州政府

#### 2) 配属機関名（日本語）

農業畜産局

#### 3) 任地（マヌス州ロレンガウ） JICA事務所の所在地（ポートモレスビー）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（飛行機で約2.0時間）

#### 4) 配属機関の規模・事業内容

配属先はパプアニューギニア本島の北に浮かぶ人口6万人程度の島であるマヌス州の州政府の農業畜産局。農民への各種農業技術サービスの提供を通して、その生計の向上と農業振興を図る機関。職員数約20名、年間予算1千万円程度。米作、食料自給、換金作物、カカオ、ゴム、畜産等の部門を持つ。同州は、2015年8月に終了したJICA技術協力プロジェクト「小規模稻作振興プロジェクトフェーズ2」の対象州で、陸稻栽培普及を積極的に実施してきた経緯があり、配属先は、同プロジェクトとの連携を視野にこれまで数代にわたり隊員を受入れている。2018年4月から隊員が活動中。

### 【要請概要】

#### 1) 要請理由・背景

配属先では、上述のJICA技術協力プロジェクト及びJVの協力活動支援により、地域農民への稻作の普及を長期にわたり推進してきた。しかしながら、JICA技術協力プロジェクトの終了後、稻作を継続している農家は少なく、離島や州都から離れた村で一部実施されているのみである。そのため、5代目となる前任隊員は普及活動と同時に稻作をより魅力あるものにするため、生産性向上を目指した試験や農業機械の導入を実施していた。配属先は今後も住民への技術トレーニングや農機の提供を行い、稻作の普及を継続する方針である。このため、稻作に関わる活動や住民の生計向上に対する支援が引き続き求められ、今回の要請に至った。

#### 2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

- 現地の社会状況、文化状況を把握し、環境や食生活における稻作の位置づけを理解する。
- 稻作栽培に係る農家のニーズを集め、それに基づくワークショップや事業等を企画し実施する。
- 農家に対する稻作技術のトレーニングと、配属先の圃場で行われる農業試験の実施に協力する。

#### 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

精米機(Yanmar YMM20 及びHOSOKAWA MR1900)、耕運機(HONDA製)、事務スペース、事務所近くの圃場

#### 4) 配属先同僚及び活動対象者

##### 【配属先同僚】

局長:男性 50代、稻作担当職員:1名 女性 40代

配属先の全職員数(男性15名:30~50代、女性5名:20~50代)は20名程度

##### 【活動対象者】

配属先同僚及び、地域の農家全般

**5) 活動使用言語**

英語

**6) 生活使用言語**

その他

**7) 選考指定言語**

英語(レベル:C)

**【資格条件等】**

[免許/資格等]： ( )

[学歴]： ( ) 備考：

[性別]： (男性) 備考：安全対策上の理由

[経験]： ( ) 備考：

[参考情報]：

- ・農業や農村開発に関する知識や経験

**任地での乗物利用の必要性**

単車小型自動二輪免許が必要

**【地域概況】**

[気候]： (熱帯雨林気候) 気温： (25~35°C位) [電気]： (安定)

[通信]： (インターネット可 電話可) [水源]： (安定)

**【特記事項】**

住居は他の隊員と同居となる可能性がある。  
生活使用言語は、ピジン語である。

**【類似職種】**

- ・食用作物・稻作栽培
- ・野菜栽培

※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。